

王滝村地域おこし協力隊 協力隊だより

令和8年10月15日発行

王滝村役場 総務課

企画係 0264-48-2001

■食文化継承事業など



9月になって、山にいろんなものが実成りしていてワクワクします。胡桃や栗を拾いました。今年は拾った胡桃でお正月に郷土食の『王滝なます』を作りたいです。道端でアケビを見つけて食べたり、夏芽を摘んだり、

本当に楽しい季節です。

食文化継承事業は次回、ひだみ（どんぐり）を取り上げます。今年はどんぐりが豊作だそうです。少し早めに下見に行く、すでにどんぐりが



たくさん落ちていて、今年は夏が暑かったからか、少し落果が早い気がします。どんぐりの加工を学ぶため、自分でも今年はあく抜きをしています。今期は作業場所として、旧ひだみの施設を利用してします。いろんな和ハーブも乾燥場所として利用しています。



■旧ひだみで作業しています

拾ったどんぐりは、茹でて乾燥しています。ここからまた、あく抜きも時間と手間がかかります。乾燥は旧ひだみで行っています。乾燥前に一度茹でこぼし、インターネットの開設をし、事務仕事や調理ができるように整備していただいた



ので、今回拾ったどんぐりも旧ひだみで茹でました。笹巻作りのイベントの際は、採ってきた笹をひだみの広いシンクで洗う作業を行いました。

ひだみで作業があるときは、役場からパソコンを持って行き、事務作業を行います。インターネット

も開設したので、ひだみでも役場の協力隊事務所と同じように事務作業ができるようになりました。打合せもできますし、コンロが使えるようになったので、料理や試作などを行えるようになりました。今後、協力隊や村民の方とのイベントなども開催していきたいと思っています。野草喫茶も、公民館だけでなく、旧ひだみでも実施して活動の場を広げていきたいです。食文化継承事業での利用を始め、村民の方とも交流できるような場づくりができるよう、今後もよりよい活用方法を考えていきたいと思っています。



■ただいま祭に野草喫茶と木工教室を出店

長野県立大学OBGによるイベントに野草喫茶と木工教室を出店しました。

私共は郷土食の継承をミッションとして採用され活動しています。

王滝村に来て森林資源の豊富さを活かす方法はないか、と思ひ、現在、林業士を目指して講座を受講しています。その中で、森林資源を生かした地域活動を行う課題があり、村の木材加工所の皆さんに協力いただき、定期的に木工教室を開催指定



と、今回、『端材を使った木工教室』を提案しました。木材加工所が出る端材を活かし、素材を見てイメージした作品を参加者の方に作っていただきました。子供も大人も、材料を見て思い思いの作品を楽しそうに作られている姿が印象的でした。



■第十一回野草喫茶開催

九月と十月は野草喫茶を2回開催しました。ただいま祭では木工教室の隣で、参加者の方に野草喫茶を開催しました。今回は『どんぐりコーヒ』『赤しそソーダ』『ドクダミソーダ』の3種類をお出ししました。その中で『ドクダミソーダ』が、飲まれた方からの評価が高かったです。また、十月十七日(日)には福祉健康のつどいでも野草喫茶を開催します。

秋のテーマは『ひだみ(どんぐり)』です。昔をご存じの村民の方からは、『懐かしいね』『飲みやすいね』『思っていたよりもおいしいね』と総じて好評でした。

協力隊活動の一環で、和ハーブを知っていただくための場として始めた野草喫茶ですが、楽しみにしてくださっているよ、おいしかったよ、と声をかけていただくことも多くなってきました。ただいま祭ではどんぐりコーヒーに加えて、夏と先日作ったドクダミソーダと赤しそソーダも提供しました。

王滝村で採れる和ハーブももっとあるはず。今年の夏はなかなか山に行けなかったので、来年はもっと散策の機会を増やして、新しい味を作っていきたいです。



■きのこはまだ入門できず

王滝村に来て、きのこが美味しいと教えてもらって、今年こそは！と決意して、林をキョロキョロ(笑)

とりあえず、見るからにおいしそうに見えたキノコを採ってみて、きのこに詳しい方に写真や実物を見てもらったりして、判別してもらいましたが：

採ったきのこはすべて、食べられませんでした。山菜もきのこも、王滝に来たからには自分で採って食べてみたいものですが、いつになったらわかるようになれますかね？

最後の写真は悔し紛れの栗。きれいな栗でした！



■野草喫茶開催のお知らせ

十月十七日(日曜日) 10時～13時三十分
福祉健康のつどいにて、野草喫茶を開催いたします
保健センター内での開催ですので、ぜひおたちよりください。



作成：地域おこし協力隊
森岡直子



日時：2026年10月17日(日)
10:00～13:30
場所：保健センター

